

高知県感染症発生動向調査（週報）

2024年 第14週 （4月1日～4月7日）

★県内での感染症発生状況

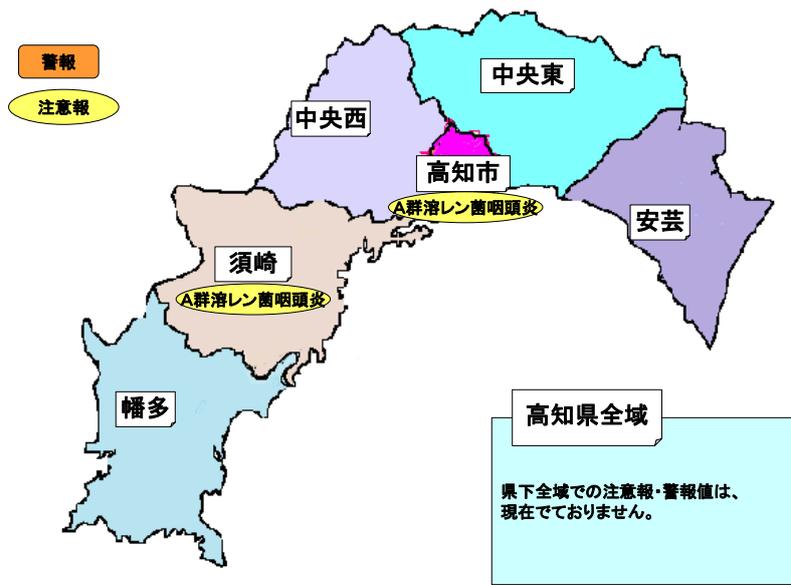
インフルエンザ及び小児科定点把握感染症（上位5疾患）

疾病名	推移	定点当たり報告数	保健所別の傾向
インフルエンザ	↓	5.91	幡多、須崎、高知市、中央西、安芸で急減、中央東で減少しています。
新型コロナウイルス感染症	↘	2.82	安芸、幡多で急減、中央西、須崎、中央東で減少しています。
感染性胃腸炎	→	2.52	須崎で急減、中央西、中央東で減少していますが、安芸、幡多で急増しています。
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↘	2.44	須崎、幡多で急減、安芸、中央西で減少しています。
手足口病	↑	0.44	中央東、高知市で急増しています。

<推移の基準>

急増	↑	前週と比較し、2倍以上の場合
増加	↗	前週と比較し、1.2倍以上～2倍未満の場合
横ばい	→	前週と比較し、0.8倍以上～1.2倍未満の場合
減少	↘	前週と比較し、0.5倍以上～0.8倍未満の場合
急減	↓	前週と比較し、0.5倍未満の場合

★地域別警報・注意報状況



★週報の発行日

週報は、毎週「水曜日」の午後3時30分以降に発行しています。

ただし、「月曜日」「火曜日」「水曜日」が祝日の場合は、「木曜日」になります。

★感染症予防の基本

感染症は、咳やくしゃみの飛沫によって拡散されます。電車や職場、学校など人が集まる場所では「咳エチケット」で感染対策しましょう。

《咳エチケット》

- ・くしゃみを他の人に向けて発しないこと。
- ・咳やくしゃみが出ている時は、できるだけマスクを着けること。
- ・手のひらで咳やくしゃみを受け止めた時は、すぐに手を洗うこと。

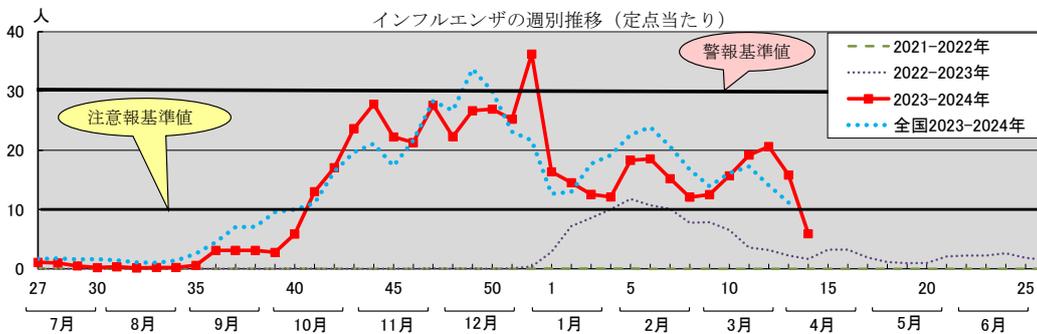


★県内で注目すべき感染症 ～注意点や予防方法～

インフルエンザ

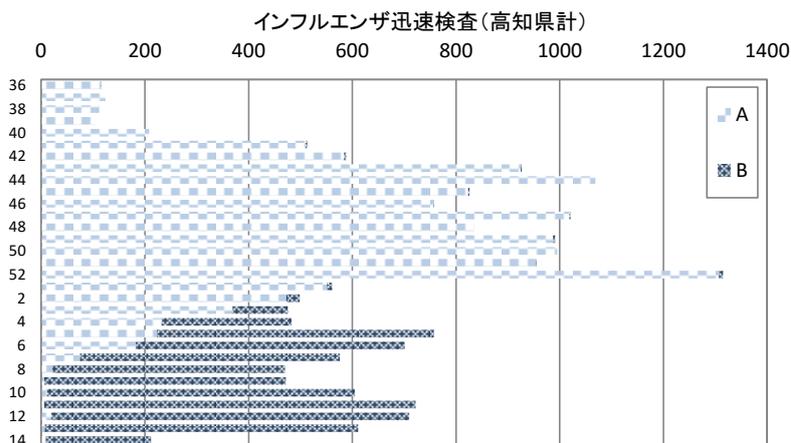
県内のインフルエンザ報告数は減少していますが、引き続き帰宅後の手洗いなどの感染予防を心がけましょう。症状がある方は、マスクを着用し、早めに医療機関を受診しましょう。また、適度な湿度の保持、十分な休養とバランスのとれた食事、人ごみを避けるなどの対策も有効です。感染力は強く、短期間に多くの人へ感染が拡大します。

全国では、令和4年第51週（12月19日～25日）に流行期入りした後、1.00を下回ることはなく、25週連続で注意報値を超えています。



国内のインフルエンザウイルスの検出状況は、直近の5週間（2024年第10週～第14週）ではBビクトリア系統の検出割合が最も多く77.4%、次いでA(H1)pdm09が12.2%、A(H3)が9.1%、B（系統不明）が1.2%となっています。

今週の県内は、インフルエンザ定点医療機関での迅速診断で、インフルエンザA型が9件（4.2%）、インフルエンザB型が203件（95.8%）検出されており、B型が主流になっています。今シーズン、A型に感染したことがある人でもB型に感染することがありますのでご注意ください。



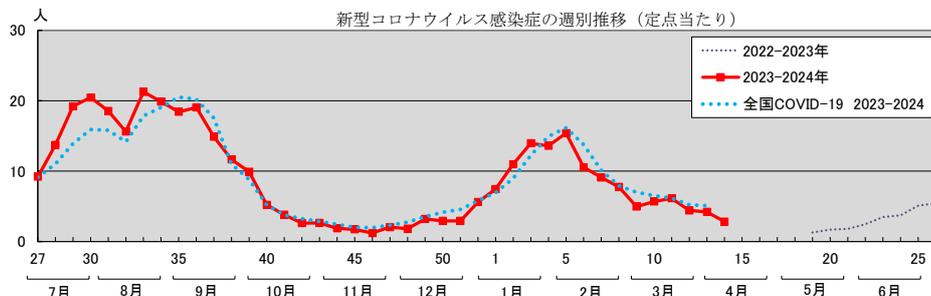
●学校感染症

学校保健安全法（同法施行規則第19条）では、出席停止期間の基準が「発症した後5日を経過し、かつ、解熱した後2日（幼児にあっては、3日）を経過するまで」と規定される学校感染症（第2種）です。ただし、この出席停止期間は、病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認めるときは、この限りでないと規定されています。

新型コロナウイルス感染症

●定点医療機関からの報告数

週数	新規感染者数	定点当たり感染者数
第10週 3/4～3/10	250	5.68
第11週 3/11～3/17	270	6.14
第12週 3/18～3/24	195	4.43
第13週 3/25～3/31	185	4.20
第14週 4/1～4/7	124	2.82



・新型コロナウイルス感染症定点医療機関数：44

・新型コロナウイルス感染症の届出基準：発熱、咳、全身倦怠感等の感冒様症状を有する者について分離・同定による病原体の検出、病原体遺伝子の検出、抗原定性検査・抗原定量検査による抗原の検出などの検査方法により新型コロナウイルス感染症と診断した場合。又は発熱または呼吸器症状（軽症の場合を含む）を呈する者であって新型コロナウイルス感染症であることが確定した者と同居している者であり医師が総合的に診断した場合。

●予防方法

*手洗い・消毒は感染予防に特に有効です。

*密閉・密集・密接の回避と家やオフィスなどの換気を十分にしましょう。

*医療機関受診時や混雑した電車やバスに乗車する時など、効果的な場面でのマスク着用をお願いします。

●学校感染症

学校保健安全法（同法施行規則第19条）では、出席停止期間の基準が「発症した後5日を経過（発症日を0日目とカウント）し、かつ、症状が軽快した後1日を経過（軽快した日を0日目とカウント）するまで」と規定される学校感染症（第2種）です。

A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎

この病気は、A 群連鎖球菌による上気道感染症です。

県内では過去 10 年間の同時期と比較して多い報告数となっています。

また、A 群溶血性レンサ球菌の他に B 群、C 群、G 群の溶血性レンサ球菌もあり、今年はこれらを原因とする劇症型溶血性レンサ球菌感染症（5 類全数把握疾患）の報告が例年より多くなっています。

患者の咳やくしゃみなどのしびきに含まれる細菌を吸い込むことによる「飛沫感染」、あるいは細菌が付着した手で口や鼻に触れる「接触感染」が主な感染経路になります。

典型的な症状は、2～5 日の潜伏期を経て、突然 38℃以上の発熱、咽頭発赤、莓状の舌などがみられます。1 週間以内に症状は改善しますが、まれに重症化し、喉や舌、全身に発赤が広がる全身症状を呈することがあります。

劇症型溶血性レンサ球菌感染症届け出数（高知県・全国）

2019（令和元年）		2020（令和2年）		2021（令和3年）		2022（令和4年）		2023（令和5年）		2024（令和6年）	
総数 （高知県）	総数 （全国）										
2	894	3	718	4	622	4	708	1	949	3	633

令和6年は4月7日現在の暫定値



●予防方法

*患者との濃厚接触を避け、手洗い、咳エチケットを心掛けましょう。

●学校感染症

学校保健安全法（同法施行規則第19条）では、学校で通常見られないような重大な流行が起こった場合に、その感染拡大を防ぐために、必要があるときに限り学校医の判断を聞き、校長が第3種の感染症として緊急的に措置を取ることができる感染症となっています。

★全数把握感染症

類型	疾病名	件数	累計	内 容	保健所
2 類	結 核	1	17	90 歳代 女性	中央東
5 類	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	3	70 歳代 男性	高知市
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1	3	70 歳代 男性	

★病原体検出情報

検出なし

★定点医療機関からのホット情報

保健所	医療機関	情 報
中央東	おひさまこどもクリニック	hMPV 気管支炎 2 例（1 歳、3 歳） 第 13wカンピロバクター腸炎 1 例（10 歳男）
	早明浦病院小児科	インフルエンザ B 型 2 例（10 歳男、12 歳男）
	JA 高知病院小児科	手足口病 1 例 COVID-19 1 例 マイコプラズマ 4 例 溶連菌 2 例 アデノウイルス 2 例 インフルエンザ B 型 22 例（みなし陽性 5 例含む）
	野市中央病院小児科	インフルエンザ A 型 4 例 （10 か月男女、3 歳男、6 歳男：6 歳男のみワクチン 2 回接種済）
高知市	けら小児科・アレルギー科	RS ウイルス気管支炎 1 例 hMPV 気管支炎 1 例 インフルエンザ A 型 2 例 B 型 22 例 COVID-19 3 例 溶連菌感染症 14 例 ノロウイルス胃腸炎 1 例
	三愛病院小児科	アデノウイルス咽頭炎 1 例（2 歳男）
	福井小児科・内科・循環器科	溶連菌感染症 10 例 インフルエンザ A 型 1 例 B 型 8 例 インフルエンザ A 型 B 型同時感染 1 例（19 歳男） 胃腸炎が急増加傾向

保健所	医療機関	情報
	細木病院小児科	溶連菌感染症 12 例 インフルエンザ B 型 5 例 COVID-19 3 例
中央西	くぼたこどもクリニック	インフルエンザ B 型 7 例 COVID-19 4 例 溶連菌 2 例
	日高クリニック	hMPV 気管支炎 4 例 (1 歳女 2 人、2 歳男、5 歳女) マイコプラズマ肺炎 4 例 (10 歳女 2 人、12 歳男、16 歳男)
須崎	もりはた小児科	インフルエンザ B 型 26 例 (全例 B 型) COVID-19 1 例 溶連菌 7 例 全体に減少傾向 第 13wカンピロバクター腸炎 1 例 (9 歳男)
幡多	渭南病院小児科	hMPV 感染症 1 例 (4 歳男)
	さたけ小児科	インフルエンザ B 型 23 例 hMPV 7 例 アデノウイルス 1 例
	幡多けんみん病院小児科	hMPV 2 例 (9 か月男、4 歳男)

発行：高知県感染症情報センター（高知県衛生環境研究所）
〒780-0850 高知市丸ノ内2-4-1 高知県保健衛生総合庁舎2階
TEL：088-821-4961 FAX：088-821-4696
※この情報に記載のデータは 2024 年 4 月 8 日現在の情報により作成しています。調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがありますが、その場合は、週報上にて訂正させていただきます。

★高知県感染症情報
疾病別・地域別報告数

高知県感染症情報 (54 定点医療機関)

定点名 (定点数)	疾病名	第14週 令和6年4月1日(月)～令和6年4月7日(日)						計	前週	全国(13週)	高知県衛生環境研究所	
		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多				高知県(14週末累計) R6/1/1～R6/4/1	全国(13週末累計) R6/1/1～R6/3/31
インフルエンザ COVID-19(4)	インフルエンザ	5	66	78	18	27	66	260 (5.91)	697 (15.84)	55,189 (11.18)	9,225 (209.66)	1,081,740 (219.38)
	新型コロナウイルス感染症	6	27	46	22	13	10	124 (2.82)	185 (4.20)	25,179 (5.10)	5,186 (117.86)	596,786 (121.03)
小児科 (26)	咽頭結膜熱		1				1	2 (0.08)	4 (0.16)	1,970 (0.63)	238 (9.15)	41,885 (13.37)
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2	2	39	2	8	8	61 (2.44)	105 (4.20)	11,175 (3.57)	1,497 (57.58)	156,193 (49.87)
	感染性胃腸炎	4	11	35	4	1	8	63 (2.52)	71 (2.84)	12,886 (4.11)	1,335 (51.35)	231,044 (73.77)
	水痘			1			2	3 (0.12)	3 (0.12)	407 (0.13)	35 (1.35)	5,495 (1.75)
	手足口病		5	6				11 (0.44)	3 (0.12)	609 (0.19)	52 (2.00)	7,442 (2.38)
	伝染性紅斑							()	()	87 (0.03)	8 (0.31)	767 (0.24)
	突発性発疹			3		1		4 (0.16)	6 (0.24)	705 (0.22)	66 (2.54)	8,050 (2.57)
	ヘルパンギーナ			1				1 (0.04)	4 (0.16)	77 (0.02)	36 (1.38)	1,014 (0.32)
	流行性耳下腺炎							()	()	81 (0.03)	4 (0.15)	1,066 (0.34)
	RSウイルス感染症			1	1			2 (0.08)	()	2,494 (0.80)	6 (0.23)	10,737 (3.43)
眼科(3)	急性出血性結膜炎							()	()	8 (0.01)	()	96 (0.14)
	流行性角結膜炎							()	()	356 (0.51)	11 (3.67)	4,829 (6.96)
基幹 (8)	細菌性髄膜炎							()	1 (0.13)	10 (0.02)	4 (0.50)	94 (0.20)
	無菌性髄膜炎							()	1 (0.13)	6 (0.01)	1 (0.13)	121 (0.25)
	マイコプラズマ肺炎							()	()	43 (0.09)	8 (1.00)	497 (1.03)
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)							()	()	()	()	10 (0.02)
	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)							()	()	6 (0.01)	5 (0.63)	80 (0.17)
計	17	112	210	47	50	95	531			111,288	17,717	2,147,946
小児科定点当たり人数	(5.75)	(12.46)	(18.41)	(13.50)	(15.00)	(14.25)	(14.61)				(453.56)	
前週 (小児科定点当たり人数)	37 (10.00)	167 (18.07)	349 (28.45)	112 (31.00)	114 (35.25)	301 (42.76)		1,080 (27.88)				

注 () は定点当たり人数。

病別年次報告数推移グラフ(インフルエンザ/COVID-19定点・小児科定点・眼科定点)

高知県感染症情報 疾病別年次報告数推移(2024年 第14週)

